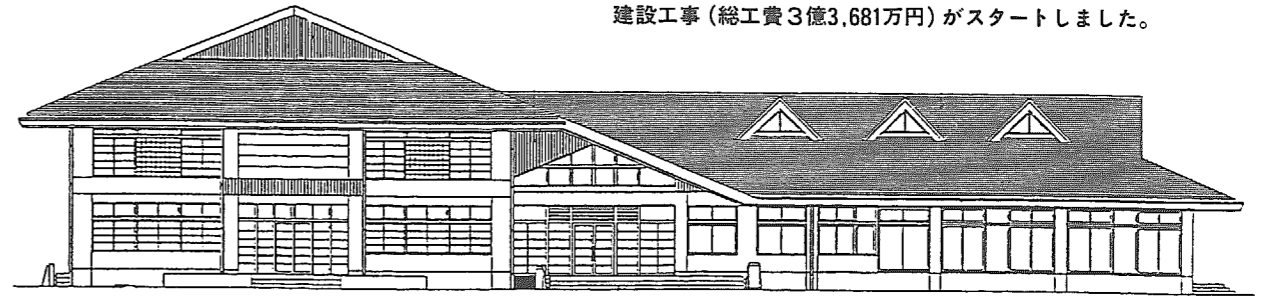


魅力ある快適な農村環境を目指し
いよいよ工事がはじまりました。

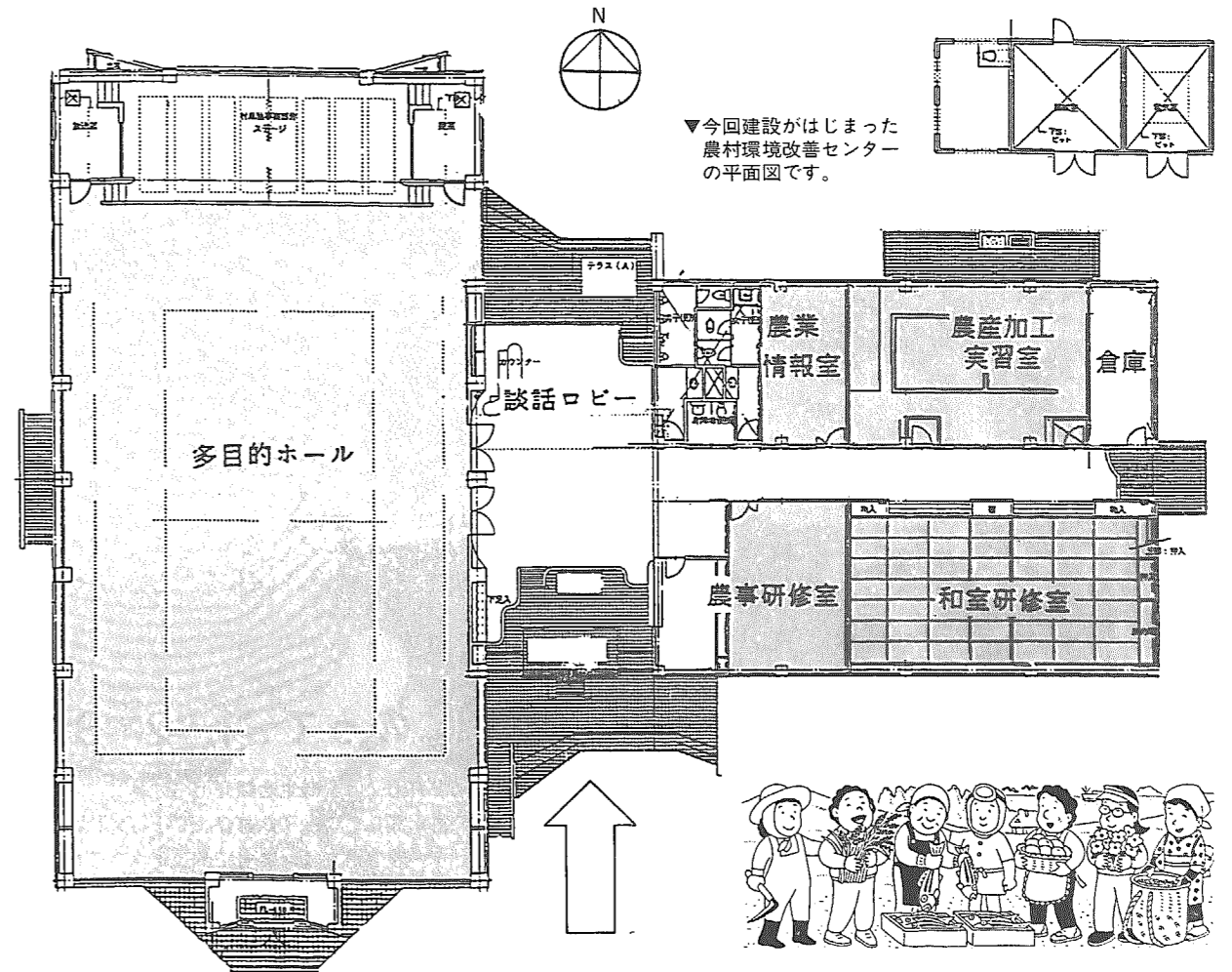
農村環境改善センター (RC及びS造り) 平家建 1,120㎡

建設工事に着手!

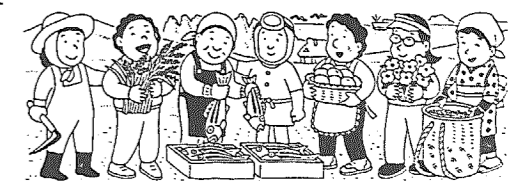
昭和54年度に整備計画を作成し、同56年度からはじまった農村総合整備モデル事業。農業基盤関係の整備も大部分が完了し、いよいよ環境整備のメイン事業である「農村環境改善センター」の建設工事(総工費3億3,681万円)がスタートしました。



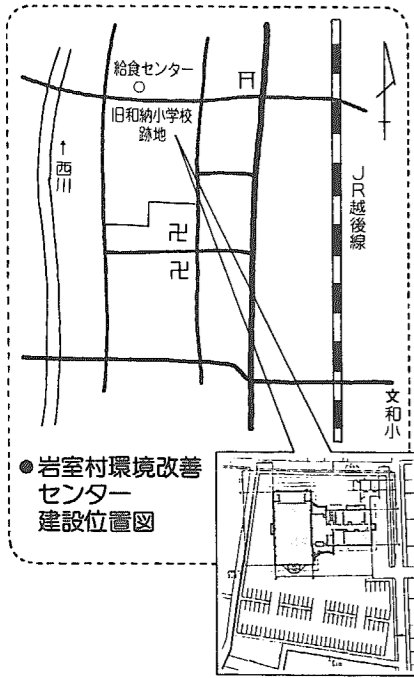
▲センター建設計画南側立面図



▼今回建設がはじまった農村環境改善センターの平面図です。



▲平成3年9月に移転してから空地となっていた旧和納小学校跡地も、同事業の着工により、今後は地域づくりの拠点として生まれ変わります。



●岩室村環境改善センター建設位置図

魅力ある農村環境を創出

昭和五十四年度に整備計画を策定し、昭和五十六年度から事業がスタートした農村総合整備モデル事業。同事業は、子どもから高齢者までが安心して定住でき、若者にも魅力ある農村環境を整備することを目的にすすめられてきたもので、いままでは農道や農業用排水路などの農業基盤整備、集落道や集落排水路などの環境基盤整備が主に行われてきました。そして、いよいよ皆さんが待ち望んでいた環境施設整備のメインでもある「農村環境改善センター」の建設が始まりました。計画では、この環境改善センターの建設は平成六年度から七年度の二か年継続事業として取り込む予定でしたが、国の景気浮揚対策の一環として補正予算が配分されたため、今回建設計画にゴーサインがだされました。

ところで、農村環境改善センターなんていうと、ちょっと堅苦しい名称ですが、施設内容は皆さんが気軽に利用できるような設計となっています。もちろん同センターは、厳しい農業情勢に対応し、農業を核とした地域産業の活性化を図るための活動拠点として整備されるものですが、それ以外にも、皆さんから関心の高い健康増進の場として、また、地区内交流の場としても利用できるコミュニティセンターの要素をもった施設となります。

そこで先月十六日、建設請負業者を内定するための指名競争入札が行われ、その翌日(十七日)に招集された臨時村議会で請負契約の締結が可決され、正式に建設請負業者が決定し、総工費三億三千六百八十一万円(外構工事除く)、平成七年二月完成を目標に工事がはじまりました。

地域活性化を目指す拠点として

では、今回建設がはじまった農村環境改善センターの施設内容についてご紹介しましょう。

まず最初に右図(平面図)をご覧ください。この中でひととき目を引くのが多目的ホールですね。このホールは、各種研修、講演会をはじめ農業祭や軽スポーツなどでもできるようなスペース(四九九㎡、五百人収容)がとられ、同センターのメインともいえるホールとなります。このほかに情報機器の活用技術研究の場としての農業情報室(二七㎡)、各種会議、集会や交流室として和室研修室(九八㎡)、また農産加工の実演や調理実習ができるように農産加工実習室(七二㎡)、それに地域振興や活性化への話し合いや検討・研修の場としての農事研修室(三九㎡)などが同センター内に設置されます。

建設工事は、今年度と平成六年度の二か年継続で本体工事が行われ、そして平成七年度に外構工事が予定されており、工事が完了次第、皆さんから情報交換の場、農業技術の研修の場、そして広く地域のコミュニティの場として利用できるように工事がすすめられます。

今回建設される農村環境改善センターの概要

- 総工費 3億3,681万円
(外構工事は除く)
- 請負業者 (株)吉田建設(巻町)
- 工期 平成6年2月17日～平成7年2月28日
- 施設
 - 構造 鉄筋コンクリート及び鉄骨造り平家建
 - 面積 建築面積 1,120㎡
(内訳) 多目的ホール499㎡(500人収容) 和室研修室(98㎡) 農事研修室(39㎡) 農産加工実習室(72㎡) 農業情報室(27㎡) 談話ロビー(48㎡) 倉庫(18㎡) ほか
- 建設地 岩室村大字和納3929
(旧和納小学校跡地)